

令和7年度第3回高知支部評議会 議事録

開催日時	令和8年1月20日(火) 14:00~16:00
開催場所	高知共済会館「藤」
出席議員	被保険者代表・・・市川評議員、岡本評議員 事業主代表・・・古谷評議員、北岡評議員 学識経験者・・・中川評議員(議長)、竹島評議員
議題	議題1 令和8年度都道府県単位保険料率について(資料1、参考資料1) 議題2 令和8年度支部事業計画(案)及び支部保険者機能強化予算(案)について(資料2-1、2-2)
議事概要 (主な意見等)	<p><u>議題1 令和8年度都道府県単位保険料率について</u></p> <p>・事務局より令和8年度都道府県単位保険料率について説明。</p> <p>(被保険者代表)</p> <p>平均保険料率が下がる点については評価しているが、どのような指標に基づく判断であったのかが分かりにくい。今後、保険料率を引き上げる際には法定準備金がどの程度減少した段階で引き上げるかなど、明確な判断指標を示す必要があると考える。</p> <p>(事務局)</p> <p>保険料率の引き上げ・引き下げの指標については、本部運営委員会においても意見が出されており、今後、議論が進められていくこととなる。</p> <p>(学識経験者)</p> <p>今回、保険料の引き下げ率を0.1%としたことについて、理由はあるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>複数の企業が共同で設立している総合健保の保険料率が約9.9%であることを踏まえたものと考えている。</p> <p>(学識経験者)</p> <p>平均保険料率が引き下げられる点は評価できるが、介護保険料率の引き上げや子ども・子育て支援金制度の開始により、結果として国民の負担は増加している。また、子ども・子育て支援金制度については、健康保険料と一体で徴収するのではなく、税による対応も検</p>

討すべきではないかと考える。

(被保険者代表)

今回のインセンティブ制度の結果では、医療機関への受診率の指標の順位が上昇したことにより、全体として順位がやや上がっているが、インセンティブを受けるために、他の指標についても順位を向上させるための方策はあるのか。

(事務局)

インセンティブを受ける、受けないに関わらず、指標となっている項目は健診関係において重要な取組であることから、向上に向けた努力を行っている。しかしながら、特定保健指導対象者の減少率が全体の足を引っ張っている状況である。この指標について短期間で改善を図ることは難しいが、他の指標も含め、粘り強く引き上げていく方針である。

(被保険者代表)

都道府県単位の保険料率格差が昨年と同様に 1.34%となっていることは大きすぎると考える。国民皆保険制度の下で、これだけの格差が生じてよいのか疑問である。格差是正の観点からも、保険料率格差は 1%以内に収める必要があるのではないかと意見を申し上げた。

(事業主代表)

インセンティブ制度の結果について、これまでどのような広報を行ってきたのか、改めて確認したい。あわせて、チラシ等を作成しているのであれば、読む側の立場からも、内容が的確で分かりやすいものとなるよう工夫をお願いしたい。

(事務局)

納入告知書に同封するチラシへの掲載をはじめ、独自に作成したチラシを経済団体の会報誌へ挟み込むなどの広報を行っている。今年度も、加入者や事業主に分かりやすく伝わるよう、外部業者にデザインの検討を依頼しながら、チラシを作成する予定である。

(議長)

令和 8 年度の高知支部保険料率を 10.05 %に引き下げることにについて、異論はないということによいか。

(評議員一同)

異議なし。

議題 2 令和 8 年度支部事業計画 (案) 及び支部保険者機能強化予算 (案) について

・事務局より、支部事業計画および予算（案）について説明。

（被保険者代表）

資格喪失後の返納金債権発生防止について、マイナ保険証によるオンライン資格確認が確実に行われれば、返納金債権そのものの発生は減少するとの理解でよいか。

（事務局）

仰るとおり、返納金債権の発生は減少することが見込まれる。そのため、マイナ保険証の利用促進を進めていきたい。

（学識経験者）

ジェネリック医薬品の普及については、数量ベースでおおむね 80%を超えており、これ以上の引き上げは難しいのではないかと認識である。一方で、他県と比較すると、高知県をはじめとする四国地方は普及率が低い状況にあるが、この点について今後の改善の見込みはあるのか。

（事務局）

使用率が低い支部においては、ジェネリック医薬品への切り替えによる軽減額を加入者に直接案内する「軽減額通知」などの事業を継続して実施しているが、依然として伸び悩んでいる。今後は数量ベースに加え、金額ベースでの取り組みが必要であることから、薬剤師会とも連携しながら、ジェネリック医薬品の利用促進に引き続き努めていきたい。

（学識経験者）

全般的に DX で推進されていく世の流れであることから、そうした分野については積極的に進めていくことを期待する。けんぽアプリの開始についても、加入者と積極的につながる仕組みとなれば非常に有効に活用できると考えられる。その一方で、導入段階においては紙媒体による広報活動も重要であるため、周知広報に引き続き力を入れてほしい。また、若年層への生活習慣病予防健診の拡大や人間ドックへの費用補助についても非常に有効な取組である。若い時から健康を意識し、良い生活習慣が身に付けば大変意義が大きい。よい取組が数多くあるため、今後も積極的に推進してほしい。

（事業主代表）

昨年度の健診結果において特定保健指導の対象域に該当した被保険者に対し、今年度の健診の約 3 か月前に生活習慣の振り返り等を促す通知を行う事業については、実際に生活習慣に向けて自制を行う人も見られるなど、非常に有意義で良い事業であると考えている。

（事業主代表）

私が所属している中央企業団体中央会では、外国人技能実習生の育成就労、特定技能の取得や活用などをバックアップしている。協会けんぽの事業計画においても国際化対応として力を入れているが、外国人からの問い合わせ対応について現状はどのように行っているのか、また、今後の国際化対応として具体的にどのような取組を予定しているのかについて教えてほしい。

(事務局)

支部における国際化対応については、まだこれからの段階である。事業計画に記載のとおり、本部が作成する各種記入の手引き等を積極的に広報していく方針である。また、現状においては、事業所側で適切に対応いただいているためか、外国人対応に関して特段困った事例は最近では見受けられていない。

(学識経験者)

高知県においても外国人労働者が増加している中、医療機関側の対応が追いつかず、受診や健康診断を断られるケースがあると聞いている。協会けんぽが医療機関に対して医療サービスの提供について直接働きかけることは難しい面があると思われるが、高知県国際交流協会などが進めている多言語化の取組もあることから、そうした関係機関と連携し、可能な範囲で対応を進めてほしい。

(議長)

令和8年度支部事業計画(案)及び支部保険者機能強化予算(案)について、了承してよいか。

(評議員一同)

異議なし。

特 記 事 項
---------

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・傍聴者なし</li><li>・次回評議会 令和8年7月に開催予定</li></ul> |
|---|